

No.	⑦-8		R7 当初予算額	20,905 百万円
事業名	地域公共交通確保維持改善事業		府省庁名	国土交通省
概 要	地方創生の基盤である地域交通の「リ・デザイン」を全国的に展開するため、「交通空白」の解消に向けた支援を実施。			
支援対象	公共交通事業者等、地域における協議会 又は地方公共団体	補助率	1／2、1／3等	
対象事業	○「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト ・「交通空白」の課題がある自治体において、都道府県が先導する場合も含め、公共/日本版ライドシェア導入等を総合的に後押し ・地域の多様な主体の連携・協働による「共創」実証運行、MaaS の広域化等支援 ・『交通空白』解消・官民連携プラットフォーム」パイロットプロジェクト推進 ○交通 DX・GX による省力化・経営改善支援（交通 DX・GX による経営改善支援事業等） ・配車・運行管理システムの導入・共通化、キャッシュレス決済の導入等支援 ○交通分野における人材確保支援（交通 DX・GX による経営改善支援事業等） ・2 種免許取得、採用活動等、人材確保を支援 ○自動運転社会実装推進事業 ・自動運転大型バス等への支援を強化 ○地域の実情に応じた生活交通の確保維持（地域公共交通確保維持事業） ＜幹線バス交通や地域内交通の運行＞ ・地域間交通ネットワークを形成する幹線バス交通の運行や車両購入等を支援 ・過疎地域等のコミュニティバス、デマンドタクシー、自家用有償旅客運送等の運行や車両購入、貨客混載の導入を支援 ・旅客運送サービス継続のためのダウンサイジング等の取組を支援 ＜離島航路・航空路の運航＞ ・離島住民の日常生活に不可欠な交通手段である離島航路・航空路の運航等を支援 ＜エリア一括協定運行＞ ・交通事業者が一定のエリアを一括して運行（エリア一括協定運行）する場合における長期安定的な支援 ○快適で安全な公共交通の構築（地域公共交通バリア解消促進等事業） ・高齢者等の移動円滑化のためのノンステップバス、福祉タクシーの導入、鉄道駅における内方線付点状ブロックの整備 ・経営基盤の脆弱な地域の鉄道の施設・車両の更新 ・障害者用 IC カードの導入 等 ○持続可能な地域公共交通の実現に向けた計画の策定（地域公共交通調査等事業） ・公共交通のマスタープランである「地域公共交通計画」の策定に資する調査等 ・バリアフリー化を促進するためのマスタープラン・基本構想の策定に係る調査 ・ローカル鉄道に係る官民共創による公共交通再構築を促すため、協議会の開催、調査事業、実証事業等を支援（地域公共交通再構築調査事業）			

支援内容	○「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト　＜補助率＞2/3 等 ○交通 DX・GX による経営改善支援事業等　＜補助率＞1/3 等 ○自動運転社会実装推進事業　＜補助率＞4/5 ○地域公共交通確保維持事業　＜補助率＞1/2 等 ○地域公共交通バリア解消促進等事業　＜補助率＞1/3 等 ○地域公共交通調査等事業　＜補助率＞1/2 ※ 国の認定を受けた地域公共交通利便増進実施計画等に基づく事業に対しては、補助要件の緩和等により支援内容を充実
離島での実績	令和 6 年度実績 ・ 離島航路運営費補助　1 2 4 航路 ・ 離島航空路運航費補助　1 7 航空路　等
備　考	
担当部署	国土交通省総合政策局地域交通課
連絡先	0 3－5 2 5 3－8 3 9 6
参照 HP	http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei_transport_tk_000041.html